

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公開番号】特開 2000-57713 (P2000-57713A)
 【公開日】平成 12 年 2 月 25 日 (2000.2.25)
 【出願番号】特願 平 10-222003
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 20/18

G 1 1 B 7/00

G 1 1 B 20/10

G 1 1 B 20/12

【F I】

G 1 1 B 20/18 5 5 2 A

G 1 1 B 20/18 5 5 0 C

G 1 1 B 20/18 5 7 2 C

G 1 1 B 20/18 5 7 2 F

G 1 1 B 7/00 H

G 1 1 B 20/10 C

G 1 1 B 20/12

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 1 日 (2004.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光ディスクの欠陥セクタの交替処理を行う欠陥管理方法であって、ディスクを初期化した後ユーザデータを記録する時、記録開始に先立ち、または、記録開始と同時に該記録セクタの欠陥の有無を判定する欠陥判定基準を選択して設定するための制御情報を、記録されるべきデータを処理する手段からデータを記録する手段に出力し、

該データを記録する手段が、前記制御情報に応じて、複数設ける欠陥判定基準から一の欠陥判定基準を選択して設定することを含む光ディスクの欠陥管理方法。

【請求項 2】

少なくとも 2 通りの前記欠陥判定基準を持ち、第 1 の欠陥判定基準は第 2 の欠陥判定基準より厳しいものとし、記録に要する時間に対する制約が相対的に緩いデータを記録するときは第 1 の欠陥判定基準を適用し、記録に要する時間に対する制約が相対的に厳しいデータを記録するときは第 2 の欠陥判定基準を適用するようにしたことを特徴とする請求項 1 記載の光ディスクの欠陥管理方法。

【請求項 3】

各記録単位の記録に適用した欠陥判定基準を、制御情報として該記録単位とともに光ディスク上に記録するようにしたことを特徴とする請求項 1 記載の光ディスクの欠陥管理方法。

【請求項 4】

光ディスクに記録を行う手段と、光ディスクの欠陥セクタを判定する手段と、欠陥セクタの交替処理を行う手段とを有し、該欠陥セクタを判定する手段には、欠陥判定の基準を設定して保持する手段と、該設定した欠陥判定基準に従って欠陥を検出する手段とを備え

、ディスクを初期化した後ユーザデータを記録する時、記録開始に先立ち、または、記録開始と同時に、前記欠陥判定の基準を設定するようにしたことを特徴とする光ディスク装置。

【請求項 5】

光ディスクに記録を行う手段と、光ディスクの欠陥セクタを判定する手段と、欠陥セクタの交替処理を行う手段とを有し、該欠陥セクタを判定する手段には、欠陥判定の基準を保持する複数の欠陥判定基準保持手段と、該複数の欠陥判定基準から 1 つを設定する欠陥判定基準選択手段と、該設定した欠陥判定基準に従って欠陥を検出する手段とを備え、ディスクを初期化した後ユーザデータを記録する時、記録開始に先立ち、または、記録開始と同時に、前記欠陥判定基準選択手段を設定するようにしたことを特徴とする光ディスク装置。

【請求項 6】

少なくとも 2 つの前記欠陥判定基準保持手段を有し、第 1 の欠陥判定基準保持手段の保持する基準は第 2 の欠陥判定基準保持手段の保持する基準より厳しい基準を保持し、欠陥判定基準選択手段において、記録に要する時間に対する制約が相対的に緩いデータを記録するときは第 1 の欠陥判定基準保持手段の保持する基準を選択し、記録に要する時間に対する制約が相対的に厳しいデータを記録するときは第 2 の欠陥判定基準保持手段の保持する基準を選択して設定するようにしたことを特徴とする請求項 5 記載の光ディスク装置。

【請求項 7】

前記欠陥判定基準選択手段において、装置外部の手段より入力される制御信号により前記欠陥判定の基準を設定するようにしたことを特徴とする請求項 4 または 5 記載の光ディスク装置。

【請求項 8】

前記光ディスクに記録を行う手段において、各記録単位の記録にあたり、前記欠陥判定基準選択手段において設定した基準に関する情報を、制御情報として該記録単位とともに光ディスク上に記録するようにしたことを特徴とする請求項 4 または 5 記載の光ディスク装置。

【請求項 9】

欠陥セクタの交替処理が適用される光ディスクであって、複数の欠陥判定基準の中から、各記録単位の記録に適用した欠陥判定基準に関する情報を、制御情報として記録する領域を各記録単位に関連して設けたことを特徴とする光ディスク。

【請求項 10】

欠陥セクタの交替処理が適用される光ディスクであって、複数の欠陥判定基準の中から、そのディスクに対して適用される欠陥判定基準に関する情報を、制御情報として記録する領域を設けたことを特徴とする光ディスク。